

聖霊降臨日礼拝

5月28日(日) 10時半

司式 太田 好則

前奏 「来ませ、聖霊よ、主なる神よ」
招詞 コリントの信徒への手紙一
4:15

頌栄 21-24
交読詩編 16 (20頁)
主の祈り (交読詩編に添付) [1-564]

讚美歌 21-50
使徒信条 (交読詩編に添付) [1-566]
聖書 使徒言行録2:22~28
(新約聖書215頁)

祈禱
讚美歌 21-343

説教 「酒に酔っているのではなく、
聖霊に導かれて」
牧師 古屋 治雄

祈禱
讚美歌 21-346
聖餐式

讚美歌 21-81
献金
報告

頌栄 21-28
祝禱
後奏

◇ 本日の集会 ◇

- CS教師祈禱会 8時45分 祈禱室
- 教会学校全科合同礼拝 9時 ホール
- 日曜求道者会 9時10分 オリーブ
- 地の塩会・共励会合同例会 礼拝後 ろば
- ☆西東京教区総会 15時 (於阿佐ヶ谷教会)
- 100周年実行委員会 20時 オンライン

今週の祈禱課題「ペンテコステに感謝して」

主イエスの復活後50日目に、使徒たちが集まっていると激しい風が吹くような音が聞こえ、炎のような舌が分かれて一人一人の上にとどまり、一同は聖霊に満たされて他国の言葉で話し出したと記されています。舌には言葉の意もあり、使徒たちはそこにいた人々にそれぞれの故郷の言葉で語ったので福音は全世界に広まりました。昇天前にイエスが言われたとおりのことが起き教会が誕生しました。

創世記バベルの塔の出来事では、皆同じ言葉で話していた人間が、神を恐れぬ傲慢により、神から言葉を乱され相互理解ができなくなって全地の面に散らされましたが、今ここでは聖霊によって世界の人々にそれぞれの言葉でキリストの救いが届けられたのです。

かつて弱き者であった弟子たちはひるむことなくキリストを宣べ伝えました。使徒言行録2章では弟子たちから私たちに力みなぎる言葉が語られます。聖霊を信じ、神を愛し、互いに愛し合うことができますように。

◇ 今週の集会 ◇

☆西東京教区総会 2日目 29日(月)9時
於阿佐ヶ谷教会

祈禱会 31日(水) 19時半
祈禱室・オンライン
使徒信条の学び ⑩
「ペンテコステに感謝して」
仙台市民教会(宮城県仙台市)
長尾 厚志先生(代)を覚えて

○聖書に親しむ会 6月1日(木) 19時半
ヨハネによる福音書1:35~51
「イエスの弟子」 祈禱室・オンライン

二〇二三年度 教会標語「希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい」ローマの信徒への手紙二章二節

次週礼拝 6月4日(日) 10時半

三位一体主日礼拝

説教 「『復活』はたわごとか」
牧師 古屋 治雄

聖書 コリントの信徒への手紙一
15:29~34

交読詩編 103

讚美歌 21-352、標語の歌、
21-345、21-81
司式 李 暁静

【担任教師就任式・聖餐式執行】

*ご自宅体温を測り、発熱のある方、のどの痛みや体調に不安のある方は、無理をせずご自宅での礼拝をお願いいたします。

◇ 次週主日の集会 ◇

- CS教師祈禱会 8時45分 祈禱室
- 教会学校礼拝 9時 祈禱室・ホール
- 長老会 13時 ホール
- ニコデモ会 13時半 祈禱室・オンライン
- 問安担当者会打合せ 礼拝後 ろば

☆西東京教区を覚えて—今週は農村伝道神学校(平良愛香校長)のために祈りましょう。

先週講壇 「すべての人に宣べ伝えよ」
ルカによる福音書24:44~53
伝道師 太田 好則

◇疑うとは、心が二つに分裂しどっちつかずの状態になることである。信仰とは、合理的判断を越えて神様に絶対的に依存することである。

◇弟子たちは、墓が空であったという女性たちの証言を聞いても信じていない。エマオに向かっていた二人の弟子たちにイエスが現れてくださり、パンを裂いてくださったとの証言を聞いても信じていない。イエスが自分たちに現れてくださって、焼いた魚の切り身を食べる姿を見ても信じていない。そんな彼らにイエス様は声をかけられる。思い切つて意識すると、「あなたがたは、まだ信じる事ができていないようだが、前に言っておいたとおり、私は苦しみを受けて、十字架にかかって、死んで葬られたが、確かにこのように復活した。そのことがあなた方の目の前で起こっているのに、これを見てもまだ信じないのか」。そして「弟子たちの目を開かれた」。小さな言葉だが、イエス様は弟子たちの心を全開にして、「旧約聖書全体が、イエス様の十字架と復活を預言しており、その預言は必ず成就する。その業によって信じる者は救われる」ということを全員の心の中に注ぎ込んでくださるといふ大きな業だったのである。

◇この福音は、イエス様の名によって強力に拡散され、世界中に伝えられる。私たちはそれを伝える者にされる。イエス様が約束された聖霊は、私たちが衣服のように包むと同時に、私たちの内に入って、私たちの力となって働いてくださる。復活から四十日目、イエス様は天に昇られる。その姿を見た時、弟子たちはもはや疑いの弟子たちではなく、イエス様の復活とその力に信頼することができるようになっていた。

◇神様は人間を、「主を賛美するために」創造された(詩編102)。弟子たちはエルサレムの神殿で、昼夜を分かたず、いつも、賛美していた。感謝する群れへと変えられた。私たちにとっては、礼拝にあずかり、恵みを一つひとつ感謝することが最もふさわしい神様への奉仕なのである。

◇ 報 告 ◇

○定期教会総会

先週 21 日に開催された教会総会にて 127 名の出席を得て以下の議案がそれぞれ承認可決されました。

- ・ 2022 年度諸報告と決算報告に関する件が承認されました。
- ・ 「阿佐ヶ谷教会教規」及び「宗教法人阿佐ヶ谷教会規則」変更に関する件が可決されました。
- ・ 創立 100 周年記念事業募金特別会計設置の件が可決されました。
- ・ 会計監事を選出しました。
- ・ 総会議事録確定については長老会一任を決定しました。

○本日、三田教会は創立 45 周年記念礼拝を守っています。

○本日開かれる西東京教区総会において太田好則伝道師の准允式が行われる予定です。

◇ 予 告 ◇

○阿佐ヶ谷教会創立 100 周年記念講演会

第 1 回 2023 年 6 月 25 日(日)14 : 00 ~

「聖書協会共同訳の魅力 - 旧約聖書を読む」

大島 力 牧師

第 2 回 2023 年 7 月 30 日(日)14 : 00 ~

「神の言の受肉 - 聖書翻訳をめぐる」

中野 実 協力牧師

新しい聖書の翻訳に携わられた両先生のご講演を聞くことのできる貴重な機会です。教会の内外を問わず、多くの方をお誘いください。チラシをご利用ください。

定期集会案内

- 主日礼拝 毎週日曜日 10 時半
- 主日夕礼拝 毎月第 4 日曜日 18 時半
- 火曜礼拝 毎月第 2・4 火曜日 15 時
- 教会学校 毎週日曜日 9 時
- 祈祷会 毎週水曜日 19 時半
- 日曜求道者会 毎週日曜日 9 時 10 分
- 聖書に親しむ会(木曜求道者会) 毎週木曜日 19 時半

聖書日課

- 29 日(月) 民数記 27:12-23 ルカ 1:26-38
- 30 日(火) サム下 23:1-5 2:22-32
- 31 日(水) エゼ 36:22-28 3:15-22
- 1 日(木) ゼカリヤ 4:1-10 4:16-21
- 2 日(金) イザヤ 44:1-8 11:5-13
- 3 日(土) エゼ 37:1-14 12:8-12
- 4 日(日) 出 19:3-8a, 16-20 使徒 2:22-36
- ルカ 10:17-24 詩編 8:1-10

- 主任牧師 古屋 治雄
- 伝道師 太田 好則
- 信徒伝道者 李 暁静

- furuya@asagaya-church.com
- ota@asagaya-church.com
- li@asagaya-church.com

2023 年 5 月 28 日(日)

(No.9)

キリストに導く養育係があなたがたに一万一人いたとしても、父親が大勢いるわけではない。福音を通し、キリスト・イエスにおいてわたしがあなたがたをもうけたのです。

コリントの信徒への手紙一 4 : 15

日本基督教団
阿佐ヶ谷教会
週報

〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北 5-18-10
Tel.03(3337)5879 振替 00110-8-196270
ホームページ <http://www.asagaya-church.com>
Eメール staff@asagaya-church.com